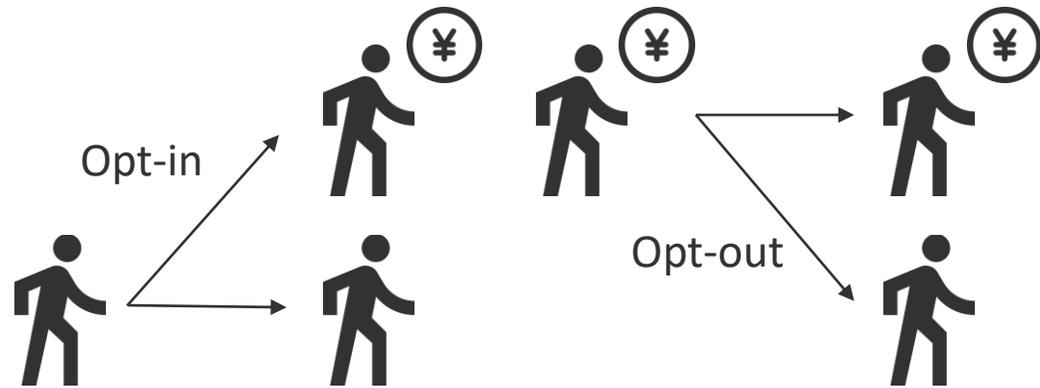




主な発見

コロナ禍のウォーキングを促すため、金銭的インセンティブを追加的に提供したとき、オプトアウト形式ではなくオプトイン形式で促進効果を観察！



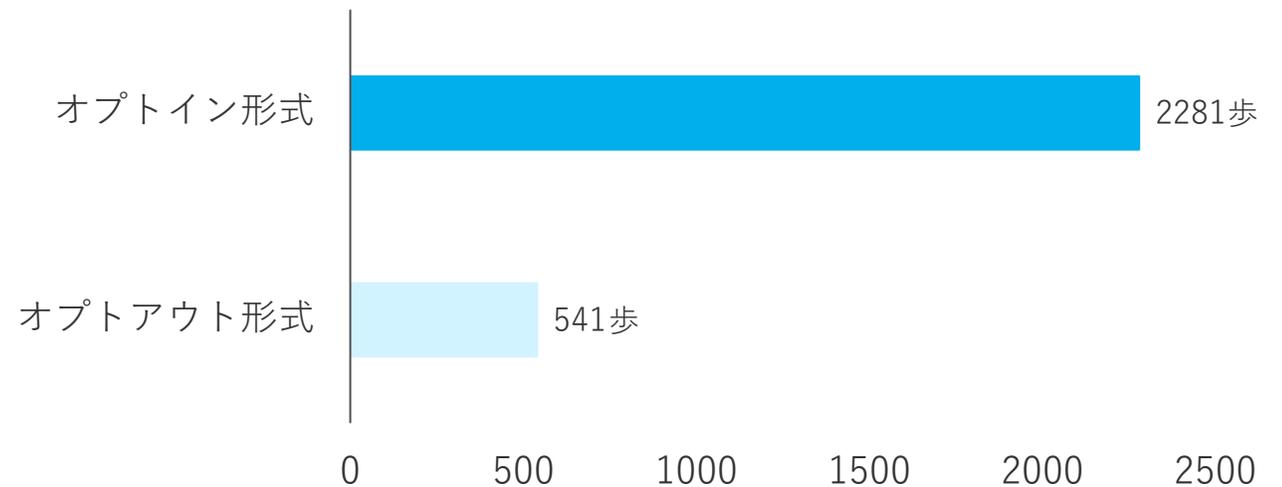
オプトイン形式

追加インセンティブが
必要な人は必要申告

オプトアウト形式

追加インセンティブが
不要な人は不要申告

インセンティブの受取りによる1日当たり歩数の増分



コロナ禍以外の平時でも同様の結果が観察されるかは、今後の検証課題



社会背景とイベントの概要

社会背景

- 新型コロナウイルス感染症の流行により、外出機会が減り、歩数の減少や体重の増加など、健康状態の悪化が指摘されています。そこで、**MY CONDITION KOBE**を活用し、**コロナ禍でも健康を維持できるような仕組みを行動経済学の観点から明らかにすることを目的としたウォーキングイベント（実証実験）**を実施しました。

イベントの概要

- 660名の方が、イベントに参加登録くださいました。
- 当初2021年1月4日からウォーキングイベントを開始しましたが、緊急事態宣言の発出により、1月14日から31日まで、イベントを一時中断しました。その後、2月1日に再開して、3月21日までウォーキングイベントを実施しました。
- 指定する2週間に、歩数に応じて追加インセンティブ（Amazonギフト券）を提供しました。
- 追加インセンティブを、①**オプトイン形式**（ギフト券を受け取りたい人は事前申込みが必要な形式。受取り不要な人は手続きは必要ありません）で提供するグループと、②**オプトアウト形式**（自動的に申込みが完了しているので、ギフト券を受け取りたい人は手続きが必要ない形式。一方で、受取り不要な人は事前に不要の申告をする必要があります）で提供するグループに分けました。
- このようなインセンティブの提供方法の違いによって歩数の変化が異なるかどうかを統計分析しました。